

オーラルセッション 場所:「瑠璃の間」
11日(火) 11:00~16:05

時間	演題	発表者 (敬称略)	
11:00	開会あいさつ【ビデオメッセージ】	防衛大臣	小泉 進次郎
11:05	経済産業大臣あいさつ【ビデオメッセージ】	経済産業大臣	赤澤 亮正
11:10	基調講演 防衛装備庁の取組みについて	防衛装備庁 長官	青柳 肇
11:20	防衛イノベーション科学技術研究所 ～創設後1年間の成果と今後の課題について～	防衛イノベーション科学技術研究所 所長	片山 泰介
休憩 (11:50~13:00)			
13:00	特別講演 A I 進化の直感的理解と防衛	株式会社PKSHA Technology 代表取締役 防衛科学技術委員会 委員	上野山 勝也
13:30	特別講演 サイバー攻撃対処技術の国産化に向けて	情報セキュリティ大学院大学 教授 防衛科学技術委員会 委員	後藤 厚宏
休憩 (10分間)			
14:10	航空装備研究所における戦闘支援 A I の実現に 向けた研究の現在	防衛装備庁 航空装備研究所 航空機技術研究部 航空機システム・無人機知能化研究室 防衛技官	十時 寛典
14:30	自律協調するスウォームを活用した動的監視網 システムの構築	防衛装備庁 陸上装備研究所 システム研究部 無人車両・施設器材システム研究室 防衛技官	田窪 溪太
休憩 (10分間)			
15:00	AI-based fishing net detection technology using optical sensors (A I を用いた、光学センサによる漁網検知技術 について)	防衛装備庁 艦艇装備研究所 岩国海洋環境試験評価サテライト 無人航走体評価研究室 PSEP	Navinda De Silva
15:25	防衛分野における最先端 A I の活用	Sakana AI株式会社	佐藤 元紀
15:45	電磁加速システムの洋上射撃試験	防衛装備庁 陸上装備研究所 弾道技術研究部 火力・防護力評価研究室 防衛技官	森田 淳子

展示会場は17:00まで開場しておりますので、是非お立ち寄りください。

特別講演及び研究開発の成果に関する発表では、質疑応答の時間を設ける予定です。

オーラルセッション 場所:「瑠璃の間」
12日(水) 10:30~15:35

時間	演題	発表者(敬称略)	
10:30	特別講演 量子コンピュータ最前線	慶應義塾大学 塾長	伊藤 公平
11:00	新たな潜水艦創製に向けた取り組み ～潜水艦コンセプト評価装置について～	防衛装備庁 艦艇装備研究所 海洋戦技術研究部 対潜戦評価基盤研究室 防衛技官	山田 翔太
11:20	・多様な衛星データの活用とAI分析が拓く デュアルユースの展開 ・船舶向け通信衛星コンステレーションによる海洋の 安心・安全の向上と海洋DXの促進	株式会社IHI 航空・宇宙・防衛事業領域	入江 寿憲 他
11:40	EMP弾技術の研究	防衛装備庁 陸上装備研究所 システム研究部 火力システム研究室 防衛技官	卜部 玄
休憩 (12:00~13:00)			
13:00	レーザー推進による衛星の運動制御のための宇宙用 レーザーの開発	【安全保障技術研究推進制度】 国立研究開発法人理化学研究所 光量子工学研究センター 光量子制御技術開発チーム チームディレクター	和田 智之
13:20	遠隔操作型支援機技術の研究の成果	防衛装備庁 航空装備研究所 航空機技術研究部 空力・飛行制御研究室 防衛技官	舘野 晃和
13:40	意思決定迅速化技術の研究	防衛装備庁 新世代装備研究所 AI・サイバーネットワーク研究部 AI技術応用研究室 防衛技官	松尾 梨奈
休憩 (10分間)			
14:10	実証型ブレイクスルー研究の進捗について	防衛装備庁 防衛イノベーション科学技術研究所 事業推進ユニット 防衛技官	薬師寺 涼
14:30	高速・高高度飛しょう誘導弾用シーカの研究 ～レーダ画像で目標を探す～	防衛装備庁 航空装備研究所 誘導技術研究部 シーカ研究室 防衛技官	前田 悠良
14:50	衛星による測位・時刻同期の革新的な欺瞞対策技術 の開発	【安全保障技術研究推進制度】 LocationMind株式会社 CTO	柴崎 亮介
15:10	島嶼防衛用高速滑空弾(早期装備型)はどこまで 進捗したか	防衛装備庁 長官官房装備開発官 (統合装備担当) 付 高速滑空弾開発室 3等陸佐	岩谷 洋和
15:30	閉会あいさつ	防衛装備庁 防衛技監	堀江 和宏
展示会場は17:00まで開場しておりますので、是非お立ち寄りください。			

特別講演及び研究開発の成果に関する発表では、質疑応答の時間を設ける予定です。

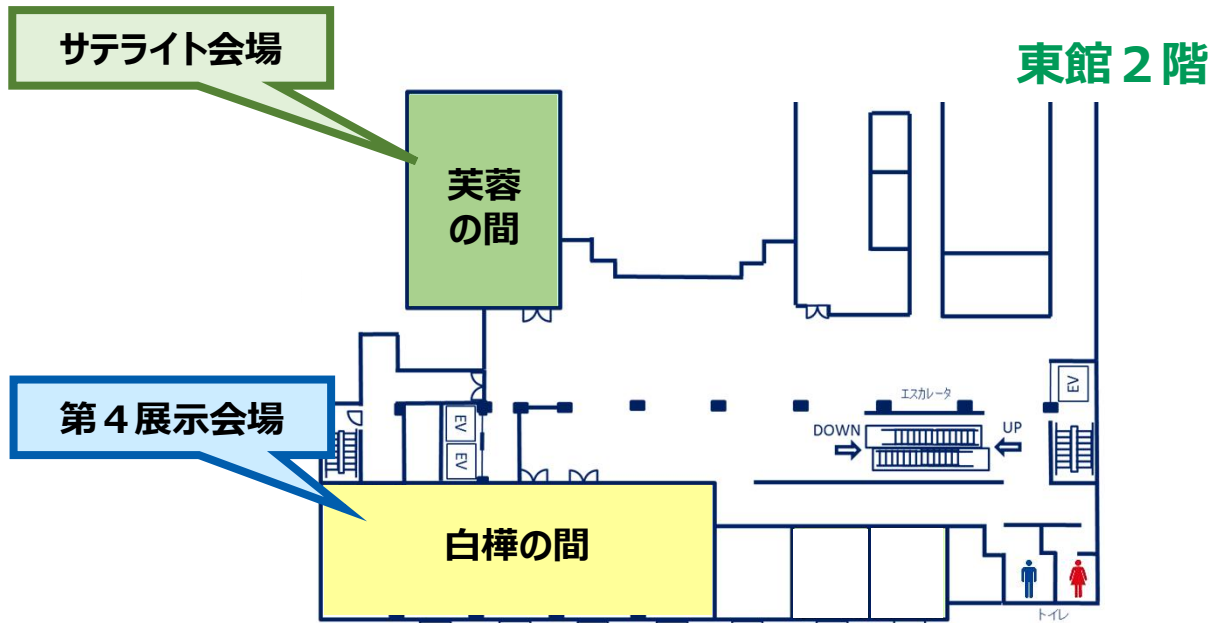
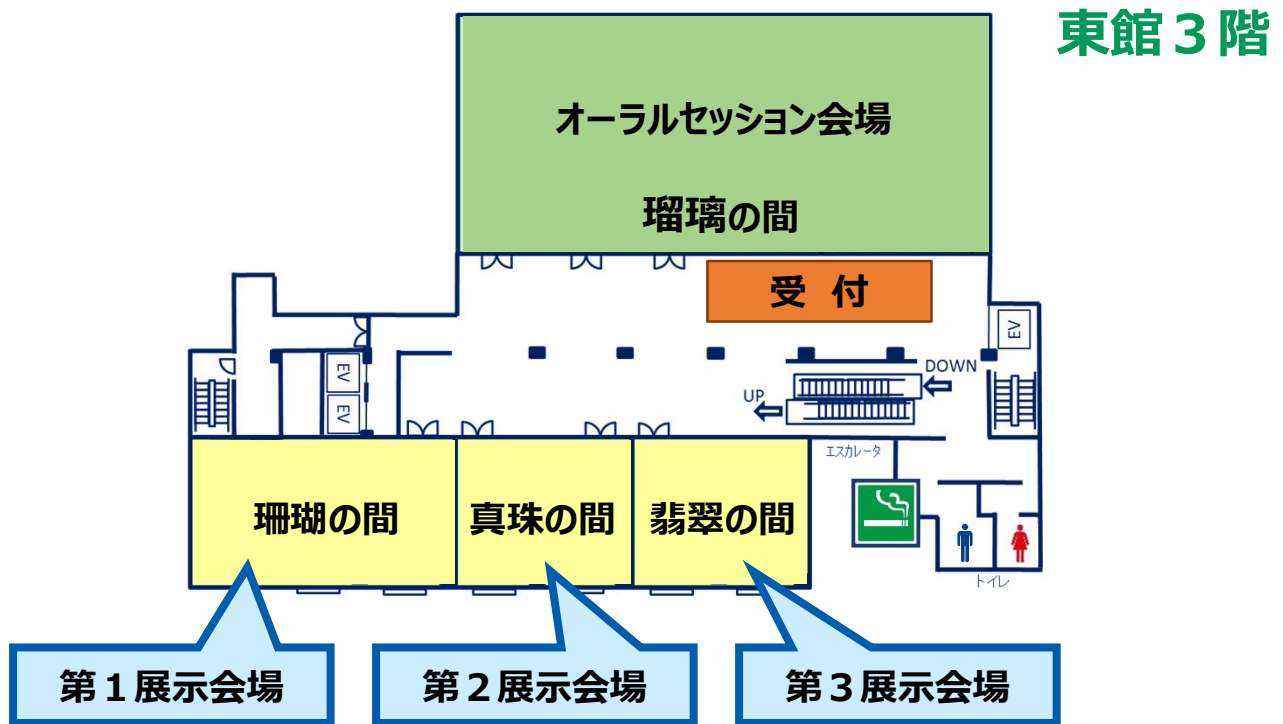
展示一覧 場所:「珊瑚の間」「真珠の間」「翡翠の間」「白樺の間」
11月11日(火)及び12日(水) 09:30~17:00

会場	番号	展 示 件 名	展 示 者
第1展示会場 「珊瑚の間」	P-1	G N S S・慣性センサに依る複合誘導航法装置について	航空装備研究所
	P-2	航空戦闘へのA Iの適用を目指して	
	P-3	遠隔操作型支援機技術の研究の成果について	
	P-4	R D Eへの航空用液体燃料の適用に向けた取り組み	
	P-5	スクラムジェットエンジンの流れ場の数値シミュレーション	
	P-6	戦闘機用エンジンシステムに関する研究	
第2展示会場 「真珠の間」	P-7	H G V等の探知・追尾に関するシミュレーション技術の研究について	新世代装備研究所
	P-8	次世代赤外線センサ技術の研究について	艦艇装備研究所
	P-9	タリスマン・セイバー25での水中音響通信の実験演習(A U K U S「第2の柱」)	
	P-10	ドローン(マルチコプター)を使った上空からの磁気計測	
	P-11	対潜戦における音響センサ配置シミュレーション技術の研究	
	P-12	艦艇装備研究所(目黒地区)の主要試験施設の紹介	
第3展示会場 「翡翠の間」	P-13	安全保障技術研究推進制度の概要	防衛イノベーション科学技術研究所
	P-14	有機正極二次電池の充放電機構の解明と高エネルギー密度化の研究	ソフトバンク株式会社
	P-15	高速及び低電圧動作E M P防護素子とその回路に関する基礎研究の成果について	音羽電機工業株式会社
	P-16	水中自律航行システムに向けた画像解析による位置推定手法の開発の成果について	いであ株式会社
	P-17	超短パルスレーザを用いたC B R N E検知ライダシステムの開発	株式会社四国総合研究所
	P-18	・“All-in-one”低軌道小型衛星 コンステレーション ・船舶向け通信衛星コンステレーションによる海洋の安心・安全の向上と海洋D Xの促進	株式会社IHI
	P-19	インテリジェンス分析と無人機における最先端A Iの活用	Sakana AI株式会社
	P-20	多領域での活用を目指す高高度ガス気球の開発と展望	株式会社岩谷技研

展示一覧 場所:「珊瑚の間」「真珠の間」「翡翠の間」「白樺の間」
11月11日(火)及び12日(水) 09:30~17:00

会場	番号	展 示 件 名	展 示 者
第4 「白樺の間」 展示会場	P-21	将来個人用CB防護装備の研究について	陸上装備研究所
	P-22	EMP(電磁パルス)弾技術の研究	
	P-23	PTOを用いた車載高エネルギー装備品用発給電装置の研究	
	P-24	陸上装備研究所の紹介	
	P-25	セラミック耐弾板に対する侵徹現象における数値解析シミュレーション技術の向上	
	P-26	電磁加速システムの洋上射撃試験	
	P-27	ダイヤモンドNVセンタによる量子磁気障害探知センサモジュールの研究	
	P-28	無人機技術の研究	
	P-29	弾頭の高威力化・軽量化・高精度化による誘導弾の性能向上の取り組み	
	P-30	防衛大学校との弾道関連分科会における取組の紹介	
	P-31	島嶼防衛用新対艦誘導弾の要素技術の研究	装備開発官(統合装備担当)
	P-32	防衛大学校 グローバルセキュリティセンターでの安全保障関連研究	防衛大学校
	P-33	爆発物テロ事態対処~簡便な爆破処理法の確立とテロ対策の強化~	
P-34	電磁波環境整備のための広帯域電波吸収体の開発		
ロビー 2階	P-35	業務説明&冬季ワークショップのご紹介	長官官房人事官
	P-36	情報本部電波部について	情報本部電波部

* 会場マップ *



※詳細な配置等は会場にてご確認ください

～～ご来場の際してのお願い～～

本シンポジウムをより有意義なものとするため、ご来場の皆様方には以下の点にご留意いただくとともに、円滑な運営にご協力下さいますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

- 登録に際しては、来場希望者ご本人の情報を正確にご入力いただくとともに、来場目的や職務内容についてもご回答ください。虚偽の情報で参加登録をしたり、故意に情報を秘匿したりしていることが判明した場合、来場者登録をお受けできないことがございます。来場目的等が不適切であった場合も同様です。
- 入場の際は、受付において、事前登録サイトからお送りした来場者証を御提示ください。
- 本シンポジウムに参加される方は、写真付身分証明書をご持参ください。会場スタッフに求められた場合はご提示いただくようお願いいたします。
- 受付開始は両日とも9時30分です。他の施設利用者の迷惑にならないよう、受付開始時間前のご来場はご遠慮ください。
- 会場スタッフから手荷物確認をお願いさせていただく場合がございます。ご理解、ご協力をお願いいたします。
- 講演中の私語や音を立てる行為はご遠慮ください。
- 講演会場内では、アラーム付の時計、携帯電話等、音の出る機器については電源を切るか音が鳴らないようマナーモードに設定して下さい。
- 講演会場内では、主催者側から事前の許可を得ている場合を除き、写真撮影、ビデオ（動画）撮影、録音等は禁止します。講演会場内で不正に撮影された写真等をインターネット(X等)にアップロードすることは禁止します。
- 展示会場では、特に禁止表示のない展示物、ポスター等の写真撮影は可能ですが、来場者、説明者の肖像権に十分なご配慮をお願いします。また、ビデオ（動画）撮影、録音や通行の妨げになるような大型機材、三脚、自撮り棒等の使用及び撮影データの商用利用はご遠慮ください。（報道機関による取材等で事前に許可を得た場合を除く。）
- 展示品や会場の備品に損傷を与える行為（傷をつける、テープを貼る等）はご遠慮ください。
- 会場への小型無人飛行機（ラジコン、ドローン等）の持ち込み及び飛行等はご遠慮ください。
- 指定場所以外への立ち入りはご遠慮ください。
- 指定場所以外での喫煙、会場内での飲食はご遠慮ください。
- ロビーなど、ホテルグランドヒル市ヶ谷の共用スペースを含む全ての会場内において、他の利用者に迷惑のかかる行為や運営の妨げとなる行為（本シンポジウムの内容と直接関係のない事項に関する執拗な質問、誹謗中傷、暴行等）を行った場合は、退出していただきます。
- 次のいずれかに該当する方の入場はお断りします。入場後に判明した場合は退出していただきます。
 - ・危険物（凶器、発火性のあるもの、爆発物、異臭のするもの等）を所持している方
 - ・酒気を帯びていると認められる方
 - ・ビラ、横断幕、プラカード、旗、鉢巻、のぼり、たすき、腕章、ゼッケン等掲示物の類を持ち、示威的行為を行った、又は行う恐れがある方
- 司会及び係員の指示に従っていただけない場合はご退出いただき、以降の再入場をお断りすることがあります。
- 来場のご登録いただいた場合でも、会場の収容人数等との関係から、来場者証を発行できない場合がありますのでご了承願います。また、当日の会場の混雑状況により、入場者数を制限する場合がございます。



防衛装備庁